

日本 AED 財団 設立 10 周年を迎えて

公益財団法人 日本 AED 財団

理事長 三田村 秀雄

2016 年に創設された日本 AED 財団は、翌年に高円宮妃殿下を名誉総裁にお迎えし、2019 年の公益財団法人への発展を経て、本年、10 年という節目を迎えました。この間、毎年、フォーラム開催に加え、教育用資材やアプリの開発、各種場面に即した緊急時対応計画の立案や提言の発信など、広く AED の普及に努めて参りました。

この間、コロナ禍の影響も一時受けましたが、皆様のご協力のおかげで、近年では全国の AED 設置台数が 71 万台となり、また学校での救命教育や講習を受けた若者も増え、AED の活用で救命された心停止者数がこの間に 2 割増加しました。

一方、高齢者増加に伴う心停止者数の増加は留まることなく、ひっきりなしの要請で奪い合い状態の救急車は現場到着に 10 分近くかかるなど、救命環境は決して楽観できません。

次の 10 年に向け、当財団はさらなる AED の啓発、アクセス改善、そして協力者の育成に邁進して参りますので、引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2026 年 7 月 27 日



■ 役員からのメッセージ

2004 年に一般市民が AED を使えるようになって 22 年、日本 AED 財団が設立されて 10 年、社会に AED があるのは当たり前の中になりましたが、AED が当たり前に使われる世の中になったか、と言われるとまだ道半ばです。大切な命を守るためにも、次の 10 年に向けた活動を本格化していきましょう。よろしくお願いいたします。

— 業務執行理事・常務理事 武田 聡

日本 AED 財団設立から 10 年。多くの仲間、支援者とともに AED に関わる様々な取り組みを進めることが出来ました。しかし、いまだに AED が使われ、電気ショックに至るのはわずか 5%。まだまだ出来ること、やるべきことが山積みです。AED を活かして、すべての救いうる命を救える社会を目指して、引き続き、皆様とともに進みたいと思います。

— 業務執行理事・Social 部会長 石見 拓

学校での突然死 0 を目指して、学校版 EAP（Emergency Action Plan）や小学校安全教育副読本の作成、School フォーラムの開催、国への働きかけなどに取り組みました。救命実習が中・高等学校の学習指導要領に導入され学校での突然死は着実に減少してきましたが、まだ 0 には至っていません。引き続き取組を進めます。

— 理事・School 部会長 桐淵 博

スポーツの最中に突然死をきたすと言う事は絶対にあってはなりません。スポーツの種類や程度などによって、その発生頻度は異なりますが、いかなる場合でも AED が使用されることが私たち委員会のゴールです。アスリートの協力を得て、運動中の死亡 0 を目指していききたいと思います。

— 理事・Sports 部会長 田中 秀治

AEDによる救命実績の推移

院外の心原性心停止例 (年間)

+21.3%



AEDショック件数 (年間)

+20.4%



AEDによる救命者数 (年間)

+21.0%



(総務省消防庁：令和7年版救急・救助の現況 (<https://www.fdma.go.jp/publication/#rescue>) をもとに日本AED財団作成)

10周年記念 カテゴリ別 成果一覧ロードマップ

西暦年	All (全体・財団)	Social (地域・社会)	School (学校・教育)	Sports (スポーツ)
2016年	一般財団法人登記 心止村湯けむり事件簿公開 第1回AED推進フォーラム開催		法人化前から継続して小学校安全教育副読本を配布	
2017年	高円宮妃殿下、名誉総裁に就任	バイスタンダーの誘導アプリAED GO導入開始 (尾張旭市)	他団体と共同で学習指導要領案に意見書および文科大臣に要望書提出	
2018年		ドローンによるAED搬送実験	第1回スクールフォーラム開催	東京オリパラ2020救急体制検討開始 スポーツ現場の突然死防止策提言
2019年	AEDのJISマーク公表 (経産省主導) 公益財団法人認定	参加型マップ：AED N@VI登録開始		
2020年		コロナ禍のOn Line AED講習会開催 成人向け教本製作	Emergency Action Plan (EAP) 学校版公表	EAP スポーツ版公表 観客席等の緊急時AED対応体制 「RED SEAT」実証実験開始
2021年	声明：子供用AED電極パッドの呼称警告と統一化			
2022年	声明：コロナ禍のAED使用と救命 声明：安倍総理銃撃事件とAED使用	多機能救命アプリ「救命サポーター team ASUKA」リリース/動画公開 VTuberが救命サポーターに就任		ラグビーでRED SEAT導入開始
2023年			「うんこドリル」とコラボ	
2024年	自己訓練アプリ「Liv for All」公開 地震避難所等へのAED無償提供 AED20周年記念シンポジウム		「小学校からの救命教育」の学習指導要領への盛り込みを文科大臣に提言	緊急声明：“スポーツ現場の突然死” 「RED SEAT」アプリをリリース
2025年	チェーンドラッグストア協会と提携 電子教本やリーフレット等制作公開	万博でAED設置/ GO運用し4名救命 へき地医療支援AEDドローン実験		
2026年	AEDポッドキャスト配信	EAP オフィス版公表 AED設置情報を『Pokémon GO』に連携	学校現場での教員の携帯電話持込禁止の見直しを文科省に提言	アジア・アジアパラ競技大会への協力



公益財団法人

日本AED財団